

4月23日に「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2014年5月9日

4月23日(水)午後6時から滋賀医科大学CMCホールにおいて「第2回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

講師には、医学科卒業生(25期生)で、あざいリハビリテーションクリニック院長で、里親学生支援室学外室員、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の理事もされている松井善典先生をお招きし、「医学生・看護学生のあなたがプロの医療者になるための『二人の自分を大切に育てるコツ』」というテーマで、お話いただきました。教師を目指していた高校生が、1日看護師体験で見学した整形外科の手術の感動から、医師を目指すことも選択肢となり、その後の進路選択と決定、滋賀医科大学での大学生活、大学卒業後の2年間の初期研修先の選択と決定、3年間の後期研修先の選択と決定、2年間のフェローシップ、そして故郷長浜へ戻ってからの仕事について、成長していくうえでのロールモデルとなる人の出会いとつながり、応援し支援してくれる方のご縁を大切に育て続けること、経験を振り返ることの大切さについて、御自分の体験談を通して、和やかに聞かせていただきました。

参加した24名の学生は、熱心に先生の話聞き、また、色々な質問をし、充実した時間を持つことができました。

また、先生の前向きで元気なお話から、将来への勇気と元気をもらうことができました。ご多忙の中、講演いただきました松井善典先生、本当に有難うございました。

この「卒業後の自分を考える連続自主講座」は、定期的に学生が希望する講演テーマで開催しますので、ご要望をどしどしNPO法人滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室)までお届けください。



～参加学生の感想を一部紹介～

- ・「目標のたて方」という言葉にはっとしました。医学部に入学して以来活動したくても日々の勉強に忙殺されてやりたい学びが全くできずより消極的になっている自分に嫌気がさす日々でしたが、今は今の自分にふさわしい目標をたてようと思います。
- ・「自分らしい自分」と「プロとしての自分」という見方がなかったので、日頃のモヤモヤを整理するきっかけとなった。
- ・「与えられた役割と環境を生かして」と「成人学習型」の2点が印象に残りました。普段、何気なく過ごしている大学生活や出会いにも意味があり、その中で疑問を感じ、行動に移すことを目標にしたいと思います。授業では聞けない重要なヒントを教えていただき、本当にありがたかったです。

1月10日に「第1回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました

2014年1月30日

た

1月10日(金)午後6時から本学教職員ロビーにおいて「第1回卒業後の自分を考える連続自主講座」を開催しました。

本講座は今回が初めての試みであり、事前に学生から講演のテーマについて希望を募り、今回は、救急で働かれている医師(できれば女性医師)の先輩に、仕事と家庭の両立と、自分で開業すること(親の病院を継ぐわけではない)についての、お話をうかがいました。

講師には、滋賀医科大学医学科卒業生(5期生)で、きづきクリニック院長の木築野百合先生をお招きし、滋賀医科大学への入学から現在の開業への道のりについて、お話を伺いました。それぞれの岐路では人とのかかわりがあり、決して自分ひとりで現在の自分がある訳ではないという話を伺い、参加した13名の学生は、先生のお話から伝わる、周りの方々への感謝の気持ちや、何事にも前向きに考える姿勢に、将来への勇気と元気をもらいました。ご多忙の中ご講演いただきました木築先生、本当に有難うございました。

なお、この「卒業後の自分を考える連続自主講座」は、定期的に学生が希望する講演テーマで開催します。ご要望をどしどしNPO法人滋賀医療人育成協力機構(里親学生支援室)までお寄せください。



プチ里親の方から 地域医療フォーラムのお知らせです(2月9日開催)

2014年1月23日

彦根市地域医療フォーラム

『幸せな最期を考える』

第Ⅰ部 特別講演

NPO法人 ささえる医療研究所 代表 村上 智彦氏

「これからの医療

“覚悟” “愛着” “物語” を語る」

第Ⅱ部 質問タイム

回答者 村上 智彦氏(NPO法人 ささえる医療研究所 代表)

金子 隆昭氏(彦根市立病院 院長)

松木 明氏(松木診療所 所長)

柴田 恵子氏(彦根市立病院訪問看護ステーション)

日時 : 2月9日(日) 午前9時30分開演 午前11時45分終了予定

会 場 : ひこね市文化プラザ メッセホール

☆詳しくは、こちらのチラシをご覧ください

⇒ [彦根市地域医療フォーラム.pdf](#)